

総監督：折江 忠道

Tadamichi ORIE

ラ・チェネントラ

～シンデレラ～

指揮：園田隆一郎

Ryuichiro SONODA

演出：フランчесコ・ベッロツ

Francesco BELLOTTO

ロッシーニ作曲：

オペラ全2幕 <字幕付き原語上演>

ドニゼッティ劇場「ラ・ピッコラ・チェネントラ」フル・バージョン改訂

G. Rossini : LA CENERENTOLA

Opera in 2 Acts in Original Language

藤原歌劇団が贈る、
珠玉の「シンデレラストーリー」

衣裳デザイン画：Alfredo Corno
舞台写真：Gianfranco Roia

2018年

4/28(土)・29(日)

14:00開演 [開場13:00] 上演時間●約2時間30分

*各日も13:15から作品解説をいたします。

テアトロ・ジューリオ・ショウワ

S席 ¥12,800 A席 ¥9,800 B席 ¥6,800 C席 ¥3,000 (税込)

◆ヤング・フレッシュマンチケット A席・B席は半額 (25歳以下 / 枚数限定)

◆障がい者割引 S席・A席・B席は20%割引 (要お問合せ / 枚数限定)

※特別割引につきましては、日本オペラ振興会チケットセンターのみで取り扱い。

詳細はお問い合わせください。

12月16日(土)10:00より一般発売開始!!

●お問合せ・予約 日本オペラ振興会チケットセンター

03-6721-0874 (平日10:00~18:00) <https://www.jof.or.jp>

●チケット販売所

チケットぴあ <http://t.pia.jp/>

0570-02-9999 (Pコード: 101-243)

【窓口販売】※アルテリッカ公演の一般発売は2月1日(木)より

川崎市アートセンター 9:00~19:30 / 毎月第2月曜除く(但し、祝日の場合は翌日)

新百合21ホール 10:00~17:00

マイタウンチケットセンター

新百合ヶ丘マブレ「写真工房彩」内 9:00~21:00 / 不定休

昭和音楽大学チケットセンター

昭和音楽大学南校舎内 10:00~18:00 / 12:00~13:00及び土・日・祝日除く

昭和音楽大学北校舎 10:00~18:00 / 12:00~13:00及び土・日・祝日除く

★お近くのセブンイレブンでもお買い求めいただけます

	4/28	4/29
アンジェリーナ Angelina	向野由美子 Yumiko KONO	但馬由香 Yuka TAJIMA
ドン・ラミーロ Don Ramiro	小堀勇介 Yusuke KOBORI	山本康寛 Yasuhiro YAMAMOTO
ドン・マニーフィコ Don Magnifico	谷友博 Tomohiro TANI	柴山昌宣 Masamichi SHIBAYAMA
ダンディーニ Dandini	押川浩士 Hiroshi OSHIKAWA	市川宥一郎 Yuichiro ICHIKAWA
クロリンダ Clorinda	光岡暁恵 Akie MITSUOKA	横前奈緒 Nao YOKOMIZI
ティーズベ Tisbe	米谷朋子 Tomoko MAIYA	吉村 恵 Megumi YOSHIMURA
アリドーロ Alidoro	伊藤貴之 Takayuki ITO	上野裕之 Hiroyuki UENO
合唱	藤原歌劇団合唱団 Fujiwara Opera Chorus Group	
管弦楽	テアトロ・ジューリオ・ショウワ・オーケストラ Teatro Giglio Showa Orchestra	

ラ・チェネントラ

G. Rossini : LA CENERENTOLA
Opera in 2 Acts in Original Language

ペローの童話、シンデレラの絵本から登場人物たちが飛び出してきた！
ロッシーニ没後150年に藤原歌劇団が満を持してお送りする
「セビリャの理髪師」と並ぶオペラ・ブッフアの傑作「ラ・チェネントラ」

ロッシーニ没後150年となる2018年、藤原歌劇団は川崎・しんゆり芸術祭参加公演として「ラ・チェネントラ」を上演します。今回のプロダクションの演出は、2016年7月の日生劇場での「ドン・パスクワレ」の舞台で大好評だったイタリアのフランチェスコ・ベッロツ。彼が2008年にベルガモのテアトロ・ドニゼッティにおいて子供向け公演のために「小さなチェネントラ」と題して演出した縮小版オペラをベースに、まるで絵本から飛び出してきたようなファンタジー溢れる世界をテアトロ・ジューリオ・ショウワに作り上げます。指揮はロッシーニの大家、故アルベルト・ゼッダの薫陶を受けて、オペラ指揮者として活躍中の園田隆一郎が務めます。

終幕の華やかなアリアで知られるタイトル・ロールのアンジェリーナに、向野由美子（4/28）と、今回が主役デビューとなる但馬由香

（4/29）。高音を駆使する難しいアリアを歌いこなす王子ラミーロには、パーザロのロッシーニ・アカデミーでも注目を集めた小堀勇介（4/28）と、びわ湖ホールを中心に活躍してきた山本康寛（4/29）。王子になりすます家来のダンディーニに押川浩士（4/28）と、今回大抜擢の市川宥一郎（4/29）。賢者アードーロに伊藤貴之（4/28）、上野裕之（4/29）。そして、娘たちのどちらかを王子に嫁がせようと躍起になるブッフオの腕の見せどころであるドン・マニーフィコには、ともに芸達者な谷友博（4/28）と柴山昌宣（4/29）。意地悪なアンジェリーナの姉たちクロリンダとティーズベには、光岡暁恵、米谷朋子（4/28）、横前奈緒、吉村恵（4/29）を配しました。華やかなアリアだけでなく、面白いアンサンブルも満載の「ラ・チェネントラ」をどうぞお楽しみに！



園田隆一郎
[指揮]
©Fabio Parezan



フランチェスコ・ベッロツ
[演出]

Story

没落男爵ドン・マニーフィコには、実の娘であるクロリンダとティーズベの他にもうひとり、既に亡くなった後妻の連れ子であるアンジェリーナという娘がおりました。姉たちはアンジェリーナを「チェネントラ」（灰かぶり娘）と呼んで蔑み、みずぼらしい身なりをさせ、こき使っておりました。ラミーロ王子が花嫁を探していると聞いたドン・マニーフィコと姉たちは、なんとしてでも花嫁の座を得ようと躍起になります。一方、王子の教育係で哲学者のアードーロは、娘たちの本性を見抜くため、王子の家臣であるダンディーニに王子のふりをさせ、本物の王子には家臣の格好をさせてマニーフィコの家に送り込みます。本物の王子とアンジェリーナは一目会った途端に互いに恋に落ちますが、アンジェリーナは城の舞踏会には連れて行ってもらえません。ひとり家に残されて悲しむアンジェリーナの元にアードーロが現れ、彼女を美しく着飾らせ、どこの誰ともわからぬ姫として王子の居城に連れていくのでした……。

合唱指揮：山館冬樹 演出補：ピエーラ・ラヴァージオ 舞台美術：アンジェロ・サーラ 舞台美術補・衣裳：アルフレード・コロノ 照明：クラウディオ・シュミット
舞台監督：菅原多敢弘 副指揮：大川修司、鈴木恵里奈、田邊賀一 演出助手：菊池裕美子



向野由美子



小堀勇介



谷友博



押川浩士



光岡暁恵



米谷朋子



伊藤貴之



但馬由香



山本康寛



柴山昌宣



市川宥一郎



横前奈緒



吉村恵



上野裕之